

新古典派成長理論に関する記述について次のア～エのうち、妥当なもののみをすべて挙げているのはどれですか。

ア. 均斉成長経路上で一国の経済の成長率は、貯蓄率、技術進歩率によって決まり、物的な資本減耗率や人口成長率には依存しません。

イ. 経済が定常状態に向かう移行過程では、1人あたりGDPの低い経済ほど1人あたりのGDPの成長率が高くなります。

ウ. 資本の限界生産力が自然成長率に等しいときに、1人あたりの消費が最大になることを経済成長における黄金律といいます。

エ. 貯蓄率が上昇すると、資本・労働比率は低下し、1人あたりのGDPは低下します。

1. ア
2. ア、イ
3. イ、ウ
4. イ、ウ、エ
5. ア、イ、エ

(裁判所職員 改題)